

非営利市民団体 しまんとシニアネットワーク設立趣意書

私達の四万十市は2008年8月1日現在の高齢者(敢50歳以上)が全人口の50%を超えて居ます。そして、高齢者人口が増加すれば、当然の様に孤独な独居老人も増えて参ります。

高齢者の中には、在職中にパソコン等の情報機器の扱いに馴染めずに退職してしまったと言う方も少なくありません。

しかし、これからコンピュータがますます生活の場へ入ってくるのが確実になってきました。社会のIT化基盤が整備されるにつれ、高齢者もPC等(IT機器)を利用する機会が増大してきています。しかし、それらの扱いに慣れていません。その不慣れがゆえに、不便を感じたり、コンピュータを知らないために、不利な扱いを受けたり、機会を逃がしたりすることが心配されます。昨今、問題になっています還付金詐欺等もそんな高齢者が被害者になっているのが現状です。

一方では高齢者は、大きな消費者群を形成することが予想されています。IT機器は消費者行動にも影響を与えるようになりますが、高齢者もPC等を利用して、消費情報に接したり、お互いに情報交換を行うことにより、賢い消費者になることを求められています。

さらに、高齢者がパソコンを通して、活発に交流し、新たな興味を発見することが可能になってきました。こうした交流を通じて、高齢者が無気力な日々を過ごしたり、孤独な老後を送ったりすることがなく、生き生きと生きていける四万十市になれたらと考えています。

このような四万十市を実現するためには、高齢者がパソコン等を利用するための一定の技能が必要です。私達は、高齢者に対してパソコン操作の基礎技能の指導を行いたいと考えています。

その指導にあたっては、高齢者の特徴を勘案し、ゆっくりと、繰り返し行うこととします。そして、高齢者には資格を取るための専門的な学習は行わず、それまで積み重ねてきた経験を活かして習得するように工夫します。例えば、趣味仲間の会報作りやホームページ、ブログ等の作成、沢山の友人・知人・親戚等の住所録整備、家族や孫たちの生活をアルバムにするデジカメ講座等身近なところから、パソコンの便利さを体得して貰うように取り組みます。

一方、高齢者には、すでに、仕事などでパソコンに習熟している人々がいます。その人達にとって、現役引退後に、その知識を生かす機会が出来ることは、生甲斐となることでしょう。又、パソコンに慣れるにつれ、初心者だった人たちも、活用する力を保有することになるでしょう。このような方々がその能力を発揮する機会を作りたいと思います。

私達は、単に、パソコンに習熟することを目指すだけでなく、パソコンを使って老後を楽しむことに力を注ぎたいと思います。

高齢者のための交流行事、社会活動参加の機会の発掘に努めます。

通信技術を学びあい、ともに支えあいつながり合って、豊かで充実したシニアライフの実現を目指します。

これらの実現のためには、日常の活動を円滑に行うことが必要と考え、「高齢者にパソコン操作の知識を普及する」ことを主活動目的とした営利を目的としない市民団体『しまんとシニアネットワーク』を立ち上げることにしました。

記

1、名 称

しまんとシニアネットワーク

2、設立準備会事務局

高知県四万十市具同6112-4

3、主活動

概50歳以上の高齢者にパソコン操作の基礎知識の普及活動

①シニアパソコン初心者教室の開設

②シニアパソコン初心者対象個人教室開設

③シニアパソコン初心者を対象で電話アドバイス実施

④シニアのグループでの勉強会にインストラクター派遣

参考:一般的な年代の定義はシニア=概50~65歳 シルバー=概60歳以上

非営利活動市民団体

しまんとシニアネットワーク

事務局 四万十市具同6112-4

電話 050-3523-8954

E-mail: ssnw@kouchi-shimanto.com

設立準備会世話人 川 山 芳 輝